

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ : 報告数は146件(前月比 0.1、前年同月比 0.8)でした。2月をピークに4月以降は急速に減少していましたが、5月はさらに減少しました。例年の季節性インフルエンザ発生状況と同様に収束していくと推測されます。

小児科定点

(全体傾向)

報告総数は2,380件(前月比 0.63、前年同月比 0.56)でした。インフルエンザと感染性胃腸炎の減少によって、前月より大幅に減少しました。震災の影響を受けた阿蘇・御船地区では報告数が少ないようです。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症 : 報告数は28件(前月比 1.1、前年同月比1.5)で、前月とほぼ同等でした。今後は夏場にかけて例年通りに減少していくものと推測されます。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は81件(前月比 1.1、前年同月比 1.1)で、横ばい状態が続いています。1歳を中心として乳幼児例が多く、水俣・宇城地区からの報告が多いようです。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は228件(前月比 1.3、前年同月比 1.0)でした。前月から半減した4月でしたが、5月は増加に転じています。宇城・天草地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は1,069件(前月比 0.8、前年同月比 0.5)でした。昨年末からの2,500件前後の横ばい状態から4月は半減し、5月も減少傾向は続いています。例年の最小報告数レベルまで減少しました。有明・山鹿・菊池地区からの報告が多いようです。
5. 水痘 : 報告数は61件(前月比 1.1、前年同月比 0.9)でした。定期接種の導入により、例年より明らかに低い件数で推移していますが、1月からは約60件の報告が続いています。菊池・有明地区からの報告が多いようです。
6. 手足口病 : 報告数36件(前月比 3.0、前年同月比 0.0)でした。昨年11月から低いレベルで推移していましたが、増加に転じました。今後、夏のピークに向かって増加が予想されます。6ヶ月～3歳の報告が増えています。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は101件(前月比 0.8、前年同月比 2.9)でした。2月以降は減少傾向が続き、昨年春からの流行は収束に向かいつつあります。山鹿・宇城地区からの報告は未だ多いようです。
8. 突発性発疹症 : 報告数は171件(前月比 1.4、前年同月比 0.9)で、例年並みの推移を示しています。2歳に11例、3歳に1例の報告がありました。
9. 百日咳 : 報告数は2件(前月比 0.7、前年同月比 1.0)でした。菊池地区から、9歳2件の報告です。
10. ヘルパンギーナ : 報告数は43件(前月比 1.4、前年同月比 0.4)でした。4月から増加傾向を認めますが、例年に比べて小幅な立ち上がりです。これからの季節に流行しますので注意が必要です。天草地区からの報告が増えつつあります。
11. 流行性耳下腺炎 : 報告数は237件(前月比 0.8、前年同月比 3.7)でした。昨年後半からの流行は、増減しながら未だ高いレベルで推移しています。山鹿・有明・菊池地区からの報告が多いようです。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 :報告はありませんでした。
2. 流行性角結膜炎 :報告数:57件(前月比0.8、前年同月0.7)と漸減しています。地区別では熊本56件、菊池1件、と2地区のみの報告です。年齢別では20～49歳台にピークがありますが、まだ乳幼児層にも単発ながら報告が出ています。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

- 1.性器クラミジア感染症 :報告数49件(前月比1.4、前年同月比0.7)で、前月比では増加、前年同月比では減少しています。男女別は、女性に35件と多く見られています。年齢別は、男性では20～34歳に11件と多く、女性は15～29歳に26件と多く見られています。地区別は、熊本が40件と多く、次いで菊池3件、御船、宇城に各2件、八代、有明に各1件でした。
- 2.性器ヘルペスウイルス感染症:
報告数17件(前月比1.2、前年同月比1.5)で前月比、前年同月比とも増加しています。男女別は、女性に9件、男性に8件見られています。年齢別は、男性は30～69歳、女性も20～70歳以上と幅広く見られています。地区別は、熊本が11件と多く、次いで八代3件、菊池、御船、有明に各1件でした。
- 3.尖圭コンジローマ :報告数10件(前月比2.5、前年同月比3.3)で、前月比、前年同月比とも著明に増加しています。男女別は、男性に7件と多く見られました。年齢別は、男性は30～34歳に4件と多く、女性は25～29歳に2件、45～49歳に1件見られました。地区別は、すべて熊本でした。
- 4.淋菌感染症 :報告数は4件(前月比0.4、前年同月比0.2)で、前月比、前年同月比とも著明に減少しています。男女別は、全員男性でした。年齢別は、男性は25～29歳、35～39歳に各2件でした。地区別は、熊本3件、宇城1件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 :報告数11件(前月比 0.8、前年同月比 0.4)でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 :報告数3件(前月比 0.8、前年同月比 0.4)でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症 :報告数0件(前月、前年同月に同じ)でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 :報告数1件(前月 +1、前年同月 +1)でした。
2. 無菌性髄膜炎 :報告数4件(前月比 1.3、前年同月比 2.0)でした。
3. マイコプラズマ肺炎 :報告数15件(前月比 1.3、前年同月比 1.2)でした。昨年よりは少ない推移です。
4. クラミジア肺炎 :報告数0件(前月、前年同月に同じ)でした。
5. 感染性胃腸炎(ロタウイルス) :報告数6件(前月比 0.3、前年同月比 1.5)でした。昨年より長く流行しましたが、ようやく減少しました。

届け出対象感染症

1類感染症	: 報告はありませんでした。	
2類感染症	: 結核	: 12件
3類感染症	: 腸管出血性大腸菌感染症	: 4件
4類感染症	: レジオネラ症	: 3件
5類感染症	: 侵襲性髄膜炎菌感染症	: 1件
	梅毒	: 2件